

— 口腔環境にあった効果的なプラークコントロール —

～ 各種予防製品の活用法 ～

座長：西本 美恵子

サンスター指導衛生士

河東 香 淑



■ 略歴

平成4年

九州歯科大学附属歯科衛生学院卒業
サンスター株式会社・歯科医療部バトラー担当
歯科衛生士として入社、現在に至る。
主に九州地区での営業活動の他、各地区の
歯科衛生士学校でのバトラーセミナーインストラクター等を務める。

現在ブラッシングは、ほとんどの人々に習慣として定着しているものと思われます。幼稚園、小学校などで、昼食後にブラッシングを行なう風景もさほど珍しい事ではなくなりました。

ただ、多くの人々がブラッシングという行為そのものに、安心しきってしまっているように思われます。一体どれだけの人が、本当に効果的なプラークコントロールを実践できているのでしょうか。

口腔環境は人それぞれ異なっています。

プラークコントロールの形も、口腔環境に応じて異なります。道具であるハブラシの選び方から始まり、ブラッシング方法、フロッシングの実践、歯磨剤の選び方など、画一的な指導では対応できない事ばかりです。

特に小児歯科において、口腔内環境はめま苦しく変化します。個人の成長に合わせた指導が必要になってくるのです。

今回のテーマは、年代別、発育段階に応じた効果的なプラークコントロールの実践ということで、成長課程にそれぞれ合わせた指導内容をお話しさせていただきます。

その中で、現在様々な予防製品があふれていますが、予防製品の特徴を上手に活かして指導していくというのも、キーポイントになっております。

それぞれの特徴を熟知することで、より効果的なプラークコントロール法を発見、実践することもできるのではないのでしょうか。

皆様の今後の御指導に、少しでもお役に立てるよう、有意義な時間にしたいと思います。